

2013-10-2

ふじさわ・九条の会ニュース

NO34



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 島田啓子 0466-34-5843

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

meil:mk-muran@cityfujisawa.ne.jp(ニュース担当)

一参議院選挙後の新しい情勢一

直接改憲から、 「集団的自衛権容認」の解釈改憲へ

<参議院選挙の結果>

自民党、直接改憲に必要な 2/3の議席確保出来ず

7月の参院選は自民党の圧勝で終わった。しかし改憲阻止の立場から見ると、負けたとは言え、①自民党単独での参議院過半数を達成させなかったこと、②改憲推進の自民、維新、みんなの三党合わせても2/3の議席を阻止できたこと、③選挙を通じ国民各層に自民党改憲案への危惧が広がったこと、等は、これまでの我々の運動の成果といえるものである。

今回の選挙で、安倍首相等改憲勢力は、一気に憲法改悪の道に突っ込もうと、9条、96条、更に復古的な自民党憲法草案までも選挙公約に掲げ、2/3の改憲に必要な議席獲得を狙ったが失敗したわけである。

民主党の大凋落により、自民党は選挙区で多数の議席を確保し大勝した。しかし、比例区では34%の支持しか得られなかったことは、今回の選挙で、国民が自民党の改憲公約を全面的に支持したものでないことを物語っている。

また、今回の選挙を通じて明らかになった橋下維新の会共同代表の慰安婦問題の発言は、安倍首相の考えとも共通したもので在り、侵略戦争肯定論も、靖国参拝肯定論も、教科書問題も、押し付け憲法論も、安倍首相の考えが源にある事を党派を超えて多くの国民が気づき、アメリ

カを含め良識ある世界の世論も警鐘をならしはじめたのが、今回の選挙の特長である。

安倍首相、改憲戦略を転換 解釈改憲による集団的自衛権容認へ

選挙の結果を受け、早速、安倍首相等は直接改憲方針を変え、安保健制懇の再開、8月には内閣法制局長官を更迭し、①集団的自衛権の解釈改憲、②秘密保護法や国家安全基本法制定による立法改憲の企てを始めようとしている。直接改憲阻止の闘いから解釈改憲阻止の新たな闘いが始まったといえる。(ニュース担当小林麻須男)

集団的自衛権を認めないのが これまでの政府統一見解

現在の集団的自衛権の政府統一見解は、次のようなものになっている。

「国際法上、国家は、集団的自衛権、すなわち、自国と密接な関係にある外国に対する武力攻撃を、自国が直接攻撃されていないにもかかわらず、実力をもって阻止する権利を有するとされている。わが国は、主権国家である以上、国際法上、当然に集団的自衛権を有しているが、これを行って、わが国が直接攻撃されていないにもかかわらず他国に加えられた武力攻撃を実力で阻止することは、憲法第9条のもとで許容される実力の行使の範囲を超えるものであり、許されないと考えている。」

—防衛省ホームページより—

参議選で、改憲阻止に向け 「ふじさわ・九条の会」の 積極的な取り組み

私たち「ふじさわ・九条の会」では参議院選挙を前に改憲勢力を少しでも減らして憲法を守る候補者を国会に送りたいと街頭宣伝を強めました。7月発行のニュースに20枚ずつ同封して、賛同者の皆さんにも配っていただくようお願いしたチラシ、——「憲法9条を守る」、「96条を守る」、「集団的自衛権の行使を認めない」という3点についての各政党の考えを一覧表にしたチラシ——の反応はいかがでしたか？

私たちはこのチラシを6月から7月の選挙の公示前までに6回街頭で撒きました。特に若者には憲法は国民の権利や自由が侵害されないように権力者に守らせるものであるという立憲主義について知ってもらおうと、辻堂にある湘南工科大学と六会の日本大学の校門の前で宣伝をしました。あわただしく登校する学生さんにとって、彼らから見れば年寄りたちがチラシを配ったり、マイクで宣伝している姿は、煩わしく映ったかもしれません。受け取りは余り良いとはいえませんでした。両大学合わせて450枚ほどのチラシを配りました。

この一覧表は他ではあまり見られないようで、生協の関係者でつくっている「コープ九条の会・神奈川」やお隣の「九条の会・ちがさき」でも活用していただきました。藤沢市内ではサンパールひろばだけでなく辻堂、湘南台、江の島駅などで地域九条のみなさんと一緒に配ったり、藤が岡周辺九条の会では4000枚を各戸配布したので、賛同者の皆さんにお願いした分を合わせると総計7000枚の配布ができました。この数を多いと見るか少ないと見るかはともかくも、サンパールひろばで配られたチラシを見て加入された方の賛同申し込み書に次のようなメッセージがありました。「水や空気のように生まれた時から日本の平和憲法のおかげでおだやかに暮らしてきました。あたり前と思っていたものは実はかけがえのない、世界に誇れるものだと知り始めました。これから大切に守っていくのが自分の世代の努めです」・・・このような賛同者が一人でも増えることを願ってこれからも街頭宣

伝を続けていこうと思います。ぜひ皆さんも毎月9日に行っている「9の日行動」にご参加ください。(別紙チラシに予定日が記載しております。)
(事務局長 島田啓子)

市内大学門前で、選挙チラシ配布 —6月28日、湘南工科大学前—

11名のメンバーが集まり、朝8時から、学生・職員の通学・通勤にあわせて街頭アピールを行なった。ここで行なうのは初めてで、7月の参議院選挙が迫り、若い人たちに、憲法改悪阻止/反原発を中心に訴えた。



—7月4日 日本大学前（藤沢六会）—

7月4日、朝8時から17名のメンバーが六会日大正門前に集まった。今日は参議院選挙告示日。憲法改悪はならない旨をいろんな角度からマイクで訴え、チラシを配った。残念ながら学生さんはなかなかチラシを受け取ってくれない。こちらの訴えに反応するのにどういう抵抗があるのか。若い人たちに共通の現象。でも予定の300枚は一時間で配り終えた。(高須賀健郎)



「運動の新しい芽吹き」 「本気で憲法を考えよう」 シンポジウムに 240人の参加

9月6日、藤沢市民会館第一展示ホールで開かれたこのシンポジウムには、主催者の予想

をはるかに超える240人の参加があった。講師は、憲法学者・木村草太氏、弁護士の宇都宮健児氏、フリージャーナリストの山秋真さんのお三方。第1部はそれぞれ講師の先生方からのお話。そして、プログラム第2部の会場からの発言は挙手の絶えない活発なものであった。私はこの会を「運動の新しい芽吹き」だと感じた。月刊誌「世界」で小森陽一さんは次のように語っている。「7月に私は青森を中心に回りましたが、今まで「九条の会」を開いたことのない地域でもっとも熱心に支えてくれたのは農協の自民党の人。草の根運動をつなげて、今まで出会う機会がなかった人同士が一緒になりました。」

一参加者にみられる新しい芽吹き一

まず、参加者の顔ぶれが新鮮であった。平和活動家ばかりでなく、キリスト教信者、創価学会員等の宗教関係者、法曹界の方々、主婦、若者など、従来の運動にみられない多彩な方々が集まった会となった。小森さんのいう「今まで出会う機会がなかった・・・」方々が一堂に会して意見交換できたことを評価したい。

一主催者は、ユニークな市民組織

「あつまろーず・藤沢」一

会を主催した「あつまろーず・藤沢」という組織は「立憲主義が危ない」「九条を中心とした平和憲法が危ない」という気持ちをもった個人の集まりで、これ自身「今まで出会う機会がなかった人同士が一緒になり」始めたということである。こうしたユニークな主催者の呼びかけだったことが参加者の多彩さを生んだともいえ



るだろう。「あつまろーず・藤沢」の中心的存在である浮田久子さんもあいさつで「これからは、こうした、党派や宗教、思想・信条の違いを乗り越えた幅広い運動が必要です。今日はそんな集まりになってほんとうに嬉しい。是非これからもお互いに手を取りあって進みましょう。」と述べた。
(斎藤隆夫)

「お寺に賛同を訴えて2年・・・」 九条の会への理解広がる

江ノ電沿線九条の会では、片瀬にあるお寺を訪ねて、チラシやニュースをお渡しして賛同を求めてきました。仏教の教えに「殺生を禁ずる」とあるのだからきっとわかっていただけの思いからです。ところがあるお寺では「殺生のことよりも中道に行く方が大事だ」と跳ねかえされたり、また別のお寺では慇懃無礼な対応をされたりするだけで手ごたえがなく、少々がっかりしていました。

ところが、6月の初夏の集いの当日、偶然会場の前の道でH寺のお坊さんに出会いました。すると「今日は本番ですね。お天気で良かったですですね。陰ながら応援しています。」と思いがけないお言葉をかけてくださったのです。わかっていてくださったのです。

無駄ではなかったと思うと元気が出てきました。最近、片瀬にある教会の牧師さんとも交流が出来ました。既に九条の会の賛同者だったことも初めてわかり、「今頑張らなければ！」と気持ちを一つにすることが出来ました。少しずつの広がり、もっともつとになるように願っています。

(江ノ電沿線九条の会 折原美知子)

＝今年も開催、平和展＝



藤沢市役所ロビー



核兵器廃絶
平和都市を
宣言、非核
平和条例を
制定してい
る藤沢市で
は平和の輪
をひろげる
実行委員
(市民有志)
と市の協力
で

1983年以來
平和事業を
展開して來
ました。

今年も北口 北口通路地下道展示場 地下道展示
場では子ども達の派遣報告、作文、一般公募に
よる川柳、五行歌等の展示、又市役所ロビーで
は長崎、広島の被爆写真の展示が8月21日より開
催されました。様々な活動経緯を経て、現在は
長崎への小中高生の派遣、広島親子派遣、ピー
スリングバスツアー、被爆体験講話会等々を推
進しています。
(渡辺聖子)

8/15 ふじさわ 不戦のちかい 平和行動

今年も8月15日に「ふじさわ 不戦のちかい
平和行動」を行いました。市民と議員がいっし
よになって平和を訴える日です。市民や議員が
もう二度と戦争を起こしてはいけない、今、日
本国憲法9条が変えられるかもしれない危機に
あり、みんなで憲法9条を守っていこうと訴え
ていました。高校生平和大使も参加して、核兵
器廃絶の署名を集めました。今日集まった署名
もいっしょに、この一年間集めた署名をジュネ
ーブの国連本部に届けます。

会場では、桜小路富士丸さん(写真)による似絵
絵エンターテイメントがおこなわれました。絵
を書く合間にこの絵をみせて、子どもたち「こ

の顔の人はどんな憲法にしようか知ってる？知



らなかつ
たらお家
でお母さ
んに聞いて
ごらん」と
言っていま
した。(松
本和美)

8月の「9の日行動」 小田急江ノ島駅前、弁天橋



暑ささか
りの PM3
:00～の
駅前アピ
ール活動。
夏休み最
中なので、
江ノ島で

の海水浴帰りの若い人たちの通行が多かった。
参加メンバーは、ふじさわ・九条の会、江ノ電
沿線九条の会、新日本婦人の会の皆さん16名。
水着姿や遊びにきた人たちが多くにも関わらず、
多くの人たちがチラシを受け取ってくれた。約
1時間内で500枚配れた。(高須賀健郎)

＜今後の主な日程＞

＜秋の学習会＞

10月25日(金) 18:30～
会場 藤沢市民会館 第2展示ホール
テーマ「集団的自衛権容認に走る安倍政権」
講師 小池拓也 明日の自由を守る若手弁護士の会
参加費 500円

＜秋の一斉チラシまき＞

11月12日(火) 13:00
集合場所～湘南台市民センター第2談話室

＜9の日行動＞

10月9日(水) 藤沢駅サンパール 13:30
11月9日(土) " "
12月9日(月) 藤沢駅南口 13:30